



その1 養子入り

「8歳の決断!」

田舎の農家の3男は、将来に展望は薄い。親戚に望まれて養子になるならば、一つの選択肢。それを決断したのが小学校2年生。そして、小学校3年生になるときに、金沢の馳家に入りました。初めて観る信号機や横断陸橋や電車の踏み切りに、びっくりしました!



その2 国体優勝

「18歳!」

星稜高校3年生で、宮崎国体優勝。専修大学スポーツ推薦(特待生合格)が決定し、高校選抜アメリカ遠征も獲得。スポーツは自分の夢をかなえる手段だと思い上がっていた頃。

はせ通信 新年号企画 人生の転機 アルバム



その3 全日本選手権
初優勝!

「23歳!」

五輪出場決定、日本の頂点を極める!流した汗は裏切らないことを実感する。



その4 ロサンゼルス
五輪出場

「23歳!」

対戦相手のイリ・マティ(ルーマニア)とともに。五輪出場で、スポーツの可能性を体感。



その5 レスリング部の
指導を最後に

「24歳!」

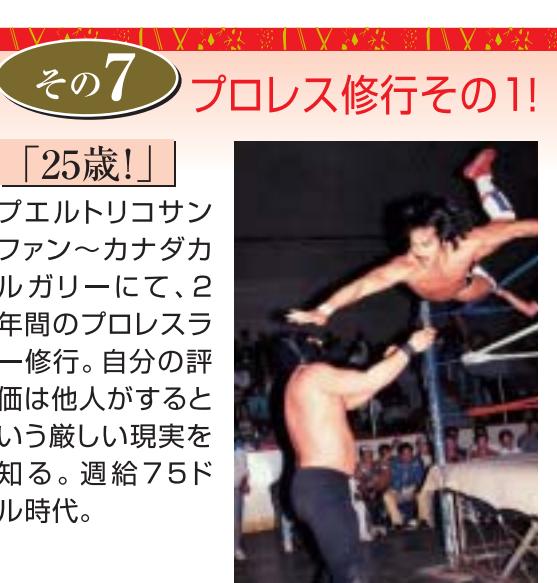
石川インターハイにて、監督最後の指導。スポーツの可能性を求めて、この仕事を最後にプロレスラーに転進。



その6 国語の先生

「24歳!」

星稜高校の国語の教員となって、生涯を教育現場にささげようと決意していた時期。毎日が楽しくて仕方なかった!



その7 プロレス修行その1!

「25歳!」

ブルートリコサンファン～カナダカルガリーにて、2年間のプロレスラー修行。自分の評価は他人がするという厳しい現実を知る。週給75ドル時代。



その8 プロレス修行その2!

「26歳!」

自分で運転、自炊。生活すべて、何から何まで自己責任。自由には大きな責任が付き従うということを体感!



その9 日本デビュー戦勝利、
IWGPジュニアヘビー級
チャンピオンに!

「27歳!」

いよいよ日本でプロレスラー生活スタート。しかし、この後数年は、相次ぐ怪我で前座戻線をさまよう。



その10 プロレス界で
出逢った仲間たち!



その1 佐々木健介…生涯のライバル
その2 長州 力…専修大学時代からの先輩



プロレスで世界平和に貢献(世界戦略)



■その1 ロシアモスクワ…ペレストロイカの象徴。
ロシアのスポーツ世界戦略(外貨獲得)の一つでもあった



■その2 中国天安門…中国史上初のプロレス興行開催



■その3 イラクバグダッド…人質解放に貢献



結婚

「33歳!」

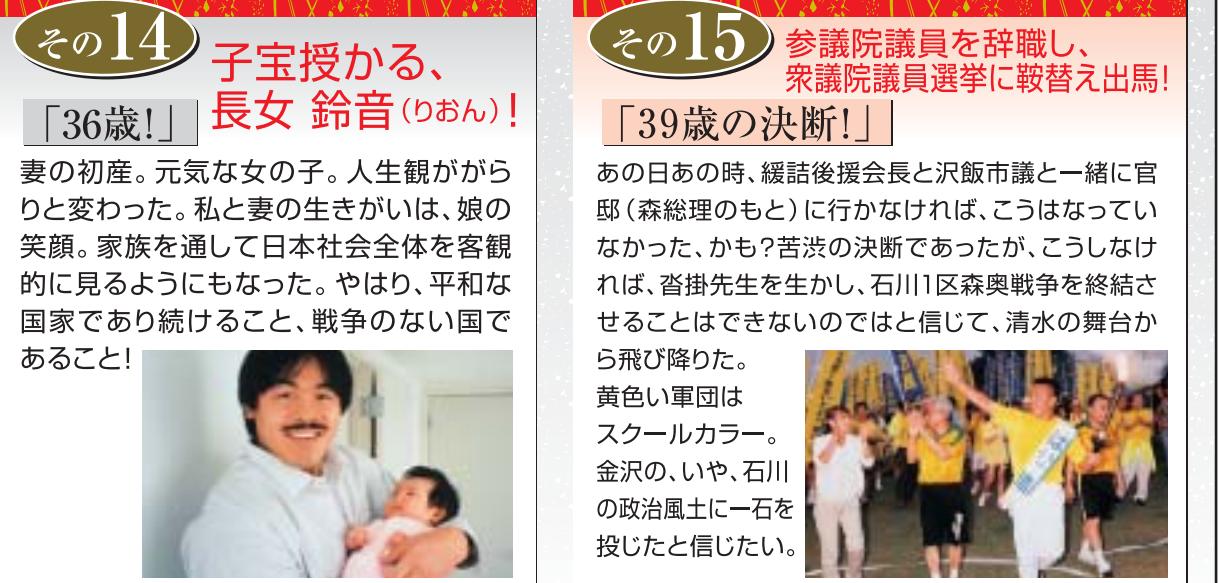
この人と、
と決断!



その13 参議院選挙出馬

「34歳!」

北朝鮮との国交正常化、現場の声を日本の教育行政に活かす、というのが2大テーマだった。スローガンは今も変わらず「子を育て 妻をいたわり 親守ろう」。出陣式の一句は「文月や 岩をも碎く 小雨かな」と、少々力が入りすぎた。当選の一句は「ふるさとや 21世紀への 海開き」。選挙期間中は石川県内を走り通した。体重は15キロ減。写真は百坂の実家前。療養中の父(故人)も激励に駆けつけてくれた思い出の一枚!



その14 子宝授かる、
長女 鈴音(りおん)!

「36歳!」

妻の初産。元気な女の子。人生観ががらりと変わった。私と妻の生きがいは、娘の笑顔。家族を通して日本社会全体を客観的に見るようになってしまった。やはり、平和な国家であり続けること、戦争のない国であること!



その16 郵政解散

「44歳!」

政治と選挙の厳しさを改めて実感した。構造改革路線の象徴とも言うべき選挙。官から民への1丁目が郵政民営化。肥大化した行政の効率化の一歩。しかし、郵便事業のユニバーサルサービスの水準維持は必要であり、不斷の見直しづべき。まずは、郵便局会社と郵便事業会社の合併を目指し、採算性を高め、地域の郵便ネットワークを堅持すべきと考える。



その17 47歳現在 国会議員一筋

写真は文部科学副大臣当時、金大付属病院を視察し、渡辺教授に説明を受けているときのもの。文部省の政務官・副大臣を勤め、現在自民党文部科学部会長、衆院文部科学委員会筆頭理事。お陰様で国会議員14年、任も得て教育一筋でやってこれた。議員立法も12本成立させることができた。「志高気清」を胸に、国会議員一筋、日本のため金沢のため、今日も街頭に立つ。

